

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		波の家学院					公表日	令和7年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・一人に対し、一つの学習ブースが設けられている ・一つ一つブースになっていて区切られているため、集中してカリキュラムに取り組めている。	・場所によってエアコンのあたりに差がある為、改善が必要 ・個室がない ・利用者には問題がないが、支援者のスペースが狭く感じる事がある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	国の人員配置基準より多く配置している。	体験や契約時に配置人数についてお伝えしていきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	サーバーやトイレ等の使い方の手順の張り紙をしている	今後も継続していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・毎日清掃を行っている。4月に1回施設外の職員が清掃のチェックを行っている ・通常の清掃以外にも気付いた時に整頓をしたり、細かいところの清掃をするようにしている	・今後、小集団での活動も増えていくにあたって、どの場所で活動すべきか検討していく必要がある ・専門の支援を受ける個室がない		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・空いているブースを使用している ・必要な時には使えるようにしている	今後も個別対応が必要なお子様がいらっしゃったら対応していく。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・支援員間で話しやすい雰囲気をつくっている。積極的に関わりを持とうとしている	施設内での情報共有を行う機会をさらに増やしていく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・保護者の方の意見等を共通している ・評価表に記載された内容について目を通し、どのようなことが出来るか考えている	評価表の振り返りについて全職員で共有を図っていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	ミーティングなどの際に話したり相談しやすい雰囲気がある	職員一人一人の意見を聞き、反映していく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	現在行っていない。	今後必要に応じて検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2	4	・法人内での研修に参加している ・研修の機会がある時は、積極的に受けるようにしている	施設内で研修内容についての情報共有を行っていく。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3		カリキュラム表は載せていないため、今後どうするか検討が必要		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・課題を客観的に分析する事で通所支援計画の作成に繋げている ・保護者への聞き取りやこどもの観察を丁寧にを行い、アセスメントをしている	今後も継続していく。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・支援員間で意見交換や情報共有をして支援するように心掛けている	今後も継続していく。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・コミュニケーションノートに通所支援計画を貼り、全支援員が確認できるようにしている	計画に沿って支援が行えている時とそうでない時がある		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・アセスメントの内容も実際の支援に合った内容になるよう検討する機会をつくっている	お子様の日々の様子を業務連絡ノート等に記入していく。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2	具体的な支援内容を設定する事で、支援員がその内容に沿って行えるようにしている	支援内容を具体的に設定し、支援に繋げていく。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・各支援員が意見を出し合い、カリキュラムを考えている ・話し合いが出来ている ・支援員間で意見交換している。個人としても情報収集に努めている	全職員で支援内容について意見を出し合う機会を多く設けていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	専門職との療育を取り入れたり、製作等のカリキュラムを行っている。	様々な意見を取り入れ、活動内容の幅を広げていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	個別だけでなく、小集団の活動も取り入れている。	今後も個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせ計画を作成していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	支援内容の共有をする事が出来ている	必要に応じて打ち合わせを行っているので、必ず打ち合わせを行うように改善していきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・気付いた事は情報共有を行っている ・口頭での伝達が難しい場合は、業務ノート等での情報共有を行っている	必要に応じて振り返りを行っているので、小さなことでも共有していくようにしたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・課題内容の記録をとったり、その他気になる事の記録をとっている	・誰が見ても分かるように細かく記録をしていくように徹底したい
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	半年に一回面談の時間を設け、計画の見直しを行っている。	今後も定期的に面談を実施し、見直しを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	4	創作活動・地域交流の機会の提供、余暇の提供が出来ていない	地域交流の機会の提供は行えていない
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・職員が一方向的に決めたり、選択肢が多すぎないように気をつけている ・自分で選択が出来るように本人に聞きながら支援を行っている ・自分で選ぶ経験が積めるように守られた空間や枠の中で提供するようにしている	今後も継続していく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	児発管が参加している。	今後も会議があれば児発管が参加し、情報提供を行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	・必要に応じて施設から連絡を取り、情報共有している ・個人としては必要な時に研修や助言を受けるように努めている	今後も保護者の方からのご要望があれば、他機関と連絡を取り、連携して支援にあたっていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・必要な情報を提供している	今後も情報共有を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	現在は行えていない。	今後必要に応じて情報共有を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	要望があれば情報提供を行っている。	今後も必要に応じて情報提供を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	現在は行っていない。	必要に応じて受けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	現在は行っていない。	必要に応じて検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	現在は行っていない。	そのような機会があれば参加していきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・お迎えに来られた時にお伝えしている ・送迎時に口頭でお伝えしたり、メールや電話等でお伝えしている ・送迎時や待機時に保護者への声掛けを行い、日頃の様子を聞いている ・個々の良いところを伝え、分かりやすい言葉で説明する事を心掛けている。言葉を選びながら必要なことは伝えている	今後も継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・保護者会の案内の情報提供を書面で行っている	今後も定期的に保護者会の開催を行っていく。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・専門用語ではなく、分かりやすい言葉に言い換えて誰にでも分かるように伝える事を意識している	契約時等に詳しく説明を行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・面談時や通所された際に保護者の方の意向を伺っている ・子どもの様子や話を踏まえて、保護者の意見のみにならないように心掛けている。聞いた内容を振り返り、ズレがないようにしている	今後も継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	2	計画を保護者の方に示し、同意を得ている。	説明を行い、同意を得るよう徹底していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	・保護者の方からのご要望があれば、相談支援等と連携し、保護者の方へお伝えしている。 ・何に悩んでいるか良く聞き取りを行い、必要に応じて専門員に相談して、保護者へフィードバックしている	今後も保護者の方からのご相談があれば、必要に応じて外部の機関とも連携しながら対応していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者会の開催をしている。	・きょうだい児の交流は予定していないので、ご要望があれば今後検討していきたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情があった際には全職員に共有し、保護者の方へも謝罪と対応策をお伝えしている ・保護者から相談や苦情があった時は、すぐに上司へ報告と共にその日のうちに解決するようにしている	今後も継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログでも発信している	今後も継続していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	全て鍵付きボックスに保管している	今後も継続していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・筆談での対応を行っている	今後も継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	秋祭りの時には、地域の方も参加していただけるようにポスター等を掲示している。	今後も秋祭り等で、地域の方との交流も図っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・新しい支援員に対しても事前に説明を行い、緊急時にどのように行動したらよいか理解できるようにしている	今後も継続していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・慣れていない支援員にも指揮をとってもらう等して工夫している	今後も継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	・契約時や面談の際に保護者の方に確認を行っている。 ・服薬指示書の提出をお願いしている	契約時やアセスメントの際に情報を確認していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	・現在はアレルギー対応のお子様がいらない為対応していないが、必要があれば対応している	今後アレルギー対応のお子様がいれば、適切な対応を行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全計画を作成し、全職員への情報共有を行っている。	今後も安全管理について職員に周知徹底していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	実際に災害が起こった際の連絡方法等お手紙にして配布している	・避難訓練を行うことを事前に保護者の方へお伝えしていきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	所定の書面に記入し、職員全体への周知を行っている。	今後も継続していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	法人内で虐待研修を行い、施設内でも情報共有を行っている。	今後も継続していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	現在は対象者がいないが、必要があれば保護者の方に同意を得た上で、記載している。	今後も必要な状況であれば、保護者の方に説明し、同意を得た上で、記載していく。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家学院			
○保護者評価実施期間	2024年8月1日 ～ 2024年8月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数)	48
○従業者評価実施期間	2024年8月1日 ～ 2024年8月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応や小集団で過ごすことが出来ているので、利用者のニーズに応えやすい。	利用者のコンディションやペースに合わせて課題やカリキュラムを進めている。	・課題以外のニーズ（SST等）にも応えられるように、専門職等との連携も行っていく。 ・他の支援員と話し合いながら様々な支援方法を検討していく。
2	JR沿線に近い。自力で通所するサポートを行っている。	・施設到着時や出発時には保護者に連絡を行っている。 ・ご要望に応じてJRまでの送り迎えのサポートを行っている。	今後車での送迎を希望される方がいらっしゃれば、検討していく。
3	外部の学習進度指導検査を受けられる。	・毎年度末に国語と算数の学習進度指導検査を実施する事で、得意不得意を知れるようにしている。 ・保護者の方へも結果票をお渡しし、情報提供を行っている。	今後も定期的に実施し、結果を基に支援に繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	大人数での集団活動は行えていない。	個別や小集団での活動が中心なので、行えていない。	今後、ご要望があれば活動内容について検討していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和7年2月1日					利用児童数		57		回収数		48	
事業所名		波の家学院					利用児童数		57		回収数		48	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	44	2	0	2	・学習するスペースは確保されていると思うが、安全に体を動かせるスペースがほしい ・もう少し広ければのびのびできて良いかもしれない ・子どもたちが何人いるかを知らない		十分なスペースが確保されていることをお伝えしていきます。					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	44	1	0	3	・個別でその日により違うが、毎回ついてもらえている		基準より多い人数を配置していることを体験や契約時にお伝えしていきます。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	44	2	0	2	・仕切りがあるため集中しやすい環境		今後も現状の中で、保護者様へご要望を伺いながら、利用者が安全に過ごせる環境作りを心掛けていきます。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	47	1	0	0	・掲示物も分かりやすく表示されている		今後も現状を継続してきながら、課題に取り組みやすい環境を確保する事をお伝えしていきます。					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	48	0	0	0	・イライラする子どもを受け入れて、寄り添ってくれている		今後も現状を継続していきます。					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	2	0	9	・あまり知らない		月に1回イベントを実施し、保護者様へも伝達していく。					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	48	0	0	0	・モニタリングから計画が導かれ、次の支援に活かされている		今後も現状を継続していきます。					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	46	1	0	1			保護者様との話し合いの上、現状に応じた計画の作成を進めていきます。報酬改定された事を説明していきます。					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	48	0	0	0	・支援はいつもその時の子どもに合わせている		今後も現状を継続していきます。					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	1	1	5	・夏休みの取り組みは新しく、療育もあると振り返られて良いと思う		個別だけでなく小集団での活動も行い、保護者様の意見を聞きながら様々な活動を取り入れていきます。					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	8	7	15	・学院しか利用していないため ・知らない		秋祭りへ地域住民の方もご参加頂く事で兵庫明石高等学校の生徒との交流を図っていきます。					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	47	0	0	1			契約時にご理解いただけるよう分かりやすく丁寧な説明を行っています。					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48	0	0	0	・モニタリングしながら次の計画を決めている		今後も現状を継続していきます。					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	38	2	0	8			保護者様から相談を受けた際には施設の様子もお伝えしながら情報共有を行い、お子様の成長と一緒に支えています。保護者会の機会を設け、情報提供していきます。					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていていると思いますか。	46	2	0	0	・お迎えの時などにも何かあれば聞いてもらっている		来所時やお迎え時に保護者様と話す機会を持ち、活動の目的を分かりやすく説明したり、保護者様のお話も伺っています。					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	44	2	0	1	・始まったばかりで・・・		送り迎えや面談の際に、保護者様のお話を聞き、必要に応じて相談機関と連携を取りながら必要な助言を行っています。					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47	1	0	0	・話を聞いてもらえる安心感がある		より利用者に寄り添った支援を行っています。					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	32	5	0	11	・コロナ明けの保護者会楽しみです ・保護者会の参加はしていきたい		今後も保護者様のニーズに寄り添った保護者会の開催を定期的に行っていきます。					

保護者への説明等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	44	0	0	3		ご相談があれば、対応していきます。また、カウンセリングの案内等の外部の機関へ相談できることをお伝えしていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	46	1	0	1	・メールで簡単に聞ける	保護者様のご要望を伺いながら、より一層分かりやすく伝えるよう努めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	43	3	0	2	・通所している所以以外のものが多く、見るのが大変	通所施設の通信のみお渡しするなど、ご要望に応じて対応していきます。また、ブログをアップした際には、保護者様へ連絡していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	4	0	2	・入会前に頂いた資料の中の保護者アンケート等フルネームで名前が書かれているのをよく見ます。それが少し気になります。	個人情報の取り扱いには十分留意していきます。資料のお名前は事前に許可をいただいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	44	2	0	2	・子どもにも丁寧に説明され、参加できている	各マニュアルについて保護者に周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	44	2	0	2	・苦手だが、頑張って訓練に参加できるようになった	保護者様への周知を徹底していき、訓練をしっかりしていきます。実施内容について詳しく周知できるよう事前案内や事後報告を徹底していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	44	1	0	3		保護者の方へ周知していき、安全な環境作りに努め、支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	2	0	8		事後が起きた際には迅速に対応していきます。マニュアルの周知を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	46	0	0	1	・少しずつ慣れ、今ではイライラする事も減っている	安心感を持ってもらえるよう、寄り添った支援を行っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	44	3	0	0	・嫌がらず行けている	楽しみながら通所できるよう、利用者や保護者様のご要望を伺いながら支援内容を工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	44	2	0	2	・高校生になりなかなか行けなくなったので、行かせてあげたいが時間帯が難しいという意味 ・土曜もしてほしい ・始まったばかりでまだ分からない ・こちらの話を聞いていただくこともあり、ありがたい	保護者様のお話を伺い、ご要望があれば適宜対応していきます。